

福井県における郷土史

研究の動向

—昭和六十三年—

福井県立図書館郷土資料室

一、県史・市町村史・地区誌

県史では、『資料編一二上 近現代三』が出版された。本書は昭和五年から二十年までの貴重な資料二五三点を厳選し、社会運動・人

絹織物業・軍事・県民生活など各主題に分けて収載、付録として米軍戦略爆撃調査団による「福井・敦賀爆撃作戦任務報告書」が収められている。

市史では、『福井市史資料編四 近世二』と『福井市史資料編一三 民俗』・『敦賀市史通史編下』・『鯖江市史三 諸家文書編二』が上梓された。福井市史資料編四は「藩と藩政上」で福井藩の藩主松平家と藩士に関する文書が収録されている。敦賀市史は明治維新から現代までの歴史をつづつた「通史編下」と「索引・年表・総目次」が発行され、史料編も含め全七巻八冊の同市史が完結した。鯖江市史は「諸家文書一」に続き中・近世にわたる神明・吉川・立待・豊・舟津・鯖江六地区五八カ所の旧家・寺社が所蔵する文書約五七〇点を収載している。

町村史では、丹生郡越廼村が村制施行三十五周年を記念して『越廼村誌本編』を出版し六十一年に刊行された史料編と合わせ完結した。その他、武生市では「たけふー市制施行四十周年記念誌」を発行。河野村では置村百年を記念して「百年のあゆみ」を出版した。

前者は写真をふんだんに使い、市街地の今昔の姿、主な出来事、歴代の市長や議長を紹介、百年のあゆみは約二〇〇枚の写真を使い役場や学校など諸施設を紹介、明治・大正時代からの歴史をつづつた百年の軌跡を収めている。

地区誌では、旧宮川村（現宮川地区）の村誌『わかき宮川の歴史』（小浜市宮川公民館）が発刊され、大正八年発行の旧村誌の続編として古代から現代までの通史となっている。その他では、『八幡町一丁目のおゆみ』（武生市八幡町一丁目地区）・『北谷見聞記続編』（勝山市北谷町老人クラブ）・『阿難祖地頭方のうづりかわり』（大野市阿難祖地頭方老人クラブ）・『春日野の歩み』（春江町春日野地区）などが出版された。

二、原始・古代

考古学関係では、『敦賀市埋蔵文化財調査報告一 衣掛山古墳群』・『永平寺町埋蔵文化財調査報告書一 ほ場整備事業関連遺跡調査報告』が公刊されている。衣掛山古墳群は六世紀中頃から七世紀初めにかけて造営された群集墳で、土地改良事業に伴い調査されたものである。永平寺町では中才・山崎両遺跡の範囲

確認調査と東諏訪問一、二号墳の発掘調査の結果を収録。また、『敦賀市歴史民俗資料館紀要三』に川村俊彦「衣掛山三号墳出土の製塩土器について」が収録されている。

三、中・近世

中世では、『特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡調査報告二一第一〇・二一 第五次調査一』・『特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡一九昭和六十二年発掘調査整備事業概報』(いずれも県朝倉氏遺跡資料館編)が発行された。前者の報告書は五十一年に発行された館跡の発掘調査報告に次ぐもので、昭和四十八年・四十九年と六十一年に調査された館周辺にある武家屋敷跡の遺構物についてまとめられたものである。

論文では、『若越郷土研究一九三』に小泉義博「西街道の変遷と蕉木浦」、朝倉氏遺跡資料館紀要一九八七」に水野和雄「戦国城下町における『道』の復元一乗谷を例にして」、美濃晋平「朝倉氏遺跡出土の竹製品中世尺八の一つ『一節切』について」、清田善樹「朝倉氏遺跡出土の『湯液本草』断簡」が収録されている。『福井考古学会誌六』には青木豊昭「朝倉兵庫助景綱の館と城」・「波多野氏の城と

館」・田中照久「丹生郡織田町浄秀寺道遺跡出土の越前瓶子について」・萩野繁春「東播系須恵器を焼いた越前官窯―播磨から越前へ工人の移動を検証する―」、福井女子高校研究集録四』には若栗稔「柴田勝家の研究」、福井の文化一三』には松浦義則「朝倉氏府中奉行人と府中」が収録されている。

近世では、『間部家文書五』(間部家文書刊行会)が出版された。鯖江藩主・間部家の藩庁日記(文久三年から明治三年)を抄録したもので、本書をもって全巻完結した。

論文では、『若越郷土研究一八八―一八九』に春松進一「元禄十四年の巡見使名の確定と享保二年三月国事叢記の記述への疑問」・白崎昭一郎「橋本左内覚之書」(二八八)・松原信之「貞享二年頃の『福井城下町組・町名・寺名帳』(二八九)」、県若狭歴史民俗資料館紀要二』に、後々田寿徳「多田寺木造十一面観音菩薩立像について」が収められている。県外関係では、『札幌学院法学四の二』に藪利和「福井藩『公事方御定書』雑考二」完」と『史学五七の四』に高木不二「越前藩天保・弘化改革試論」があった。

四、近現代

『くらしを訪ねて―池田の里―』(池田町教委)・『特務艦関東の遭難』(上坂紀夫が刊行された。前者は、明治時代から戦前までの生活の中で現在見られなくなった生産技術や生活様式などが記述されている。『特務艦関東の遭難』は、置村百年を迎えた河野村が記念誌として上梓されたもので、大正十三年極寒の糠沖で沈んだ「関東」の最期と遭難兵を救助した村の女子たちの活動記録である。その他では『芦原町英勲録』(芦原町遺族連合会)・『越前町英勲録』(越前町遺族連合会)があり、自費出版では『今昔・福井県政界夜話』(杉本伊佐美)がある。

論文では、『福井工業大学研究紀要一八』に三上一夫「日本近代の真宗地帯の歴史的性格―越前・旧今立郡下の動向を中心に―」・『奥越史料一七』には、坂田玉子「大野屋経営新史料『大岸組』について」が収録されている。

分野史も活発に上梓された。『福井県労働運動史四』(県労働者福祉協議会・県労働福祉運動の戦後四十年の進展ぶりが記録され、医師

会関係では、『武生市医師会百年史』・『鯖江市医師会百年の歩み』その他では、『四十のあゆみ(県遺族連合会)』・『県新生活運動協議会三十年のあゆみ』・『明日に生きる―福井県の子ども会二十年のあゆみ―』・『県・市町村民運動にみる二十年のあゆみ』・『福井県信連史(県信用農業協同組合連合会)』・『官農指導三十年のあゆみ』(県農協)・『三十年のあゆみ』(福井県印刷工業組合)・『三十年誌』(福井県綿糸工業組合)・『三十年のあゆみ』(福井県綿寝具商業組合)などや大野・勝山両市の体育協会のあゆみも出版された。

学校史では、県立では藤島高校が『百三十年史』・『百三十年文集』を発売している。福井藩の藩校として創立(幕末)以来の沿革史をつづつたものである。『三高八十年の回想』(三国高校)・『武高定時制四十年のあゆみ』(武生高校定時制)・『二十五年史』(春江工業高校)・『二十年史』(美方高校)も出版された。私立では、明治三十一年に婦人仁愛教団として設立した仁愛高校が『和』を創立九十九周年記念誌として発行した。小学校では、『福井市宝永小学校百年史』・『芦原小学校百年

史』が上梓された。さらに県高等学校PTA連合会が『二十五年の歩み』を出版している。五、その他の文献

『歴史と史跡 大野』(大野市)・『図録敦賀の文化財』(敦賀市教委)・『笏谷石文化』(福井の文化を考える会)・『根来坂』(小浜山の文化)・『池田追分け』(池田町教委)・『若越山脈七』(青少年育成県民会議)などがある。『笏谷石文化』は、古代から広く利用されてきた同市足羽山産出の石材について四氏の講演を文章化したものである。『根来坂』は若狭と京都を結ぶ鯖(さば)街道ルートの記録。『若越山脈七』は青少年に良書に親しむ機会を与え、先人たちの生き方を学んでもらおうと、福井藩の名奉行鈴木主税など郷土の偉人一〇人を紹介している。

特集し、斎藤槻堂「手杵祭」・中西竹次「国津神社の神事」・石崎直義「奇祭「したんじょう」」・柴田伊左衛門「オロオロまつり」・杉本伊佐美「大野市旧五箇村を訪ねて」・入江宣子「高浜町小和田の田楽舞」・桜井帯刀「高浜町和田の祭礼」などを収め、『福井の文化二二』は、越前和紙のフォークロアを特集し、長屋善晶「神と仏と紙の祭り」・渡辺光一「越前和紙とその伝統」・加藤良夫「紙漉く心・求めるころ」・朝倉俊輔「和紙の現代芸術」などが収載されている。

六、歴史研究施設の動向

県下の関係施設が開催した特別展のみを紹介してみたい。県立博物館では春季特別展「知られざる古墳時代―その生産技術を探る―」展、秋季特別展は「武將のいでたち―福井ゆかりの甲冑と武具―」展を開催。鯖江市資料館では、特別展「近松門左衛門と鯖江」を催し、町立の資料館では、三国町の特別展「三

論文では、『若越郷土研究一八九―一九二二』に久保日参「水海の田楽能舞を見て」(一九九)・小泉義博「帰山と呼坂について」(一九〇)・足立尚計「馬来田家公文職系図記上・下」(一九一・一九二)・山下英一「人間雨森信成」(一九一・一九二)・「えちぜんわかさ九」では、八号につき越前・若狭の祭りを

国町の教育史」展、今立町では特別展「古社の文化財朽飯八幡神社」と開館五周年記念の「時代屏風絵展」、三方町では六十年に実施された企画展の続編として、特別展「続・ふる

さとのあけぼの展―鳥浜・藤井・田名・北前川・向笠の遺跡から―展を開催した。

七、郷土雑誌

郷土研究にかかわる誌名を号数のみを参考までに紹介したい。

- 朝倉氏遺跡資料館紀要一九八七 ○朝倉氏遺跡資料館・資料館だより一・二 ○えちぜんわかさ九(福井民俗の会) ○奥越史料一七(大野市教委) ○研究紀要一八(福井工大) ○若越六六 ○若越郷土研究一八八―一九三 ○若越の城館(若越城の会) ○武生市史編さんだより一七―一九 ○敦賀市歴史民俗資料館紀要三 ○福井県埋蔵文化財調査センター年報昭和六十一年度 ○福井考古学会会誌六 ○福井考古学会々々報一八―二四 ○福井市立郷土歴史博物館々々報一三 ○福井の文化一二・一三 ○ふくい無形民俗文化財一〇 ○若狭歴史民俗資料館紀要二